

## 厚生文教委員会視察

29年7月21日

### 加賀地区調査

- 石川医療センター
- いしかわ師範塾・教育総合センター
- 辰口・芳珠記念病院

等を視察



29年8月21日～23日

### 県外調査

(島根県・鳥取県・岡山県・大阪府)

- 出雲大社
- 鳥取県立中央病院 (ドクターヘリの運用体制)
- 岡山県立図書館 (利用者、貸出件数日本一)
- 特別史跡・旧閑谷学校講堂 (国宝)
- 社会福祉法人こうほうえん (オールジャパンケアコンテスト事務局)
- 社会福祉法人和光認定こども園 (食育を重視、自分で考える給食を実施)
- 大阪府立咲くやこの花高等学校 (中高一貫でキャリア教育に注力)

等を視察



29年10月26日～27日

### 能登地区調査

- 七尾市立七尾中学校
- 七尾特別支援学校輪島分校
- 總持寺
- ライフサポート村とも
- さくらこども園

等を視察

## 県議会議員在職10年表彰を受ける。



議長室において、米澤議長より表彰状を授与される



表彰状

29年6月13日、県議会議員在職10年表彰を受けました。

これまでの皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、これからも、一層の精進をまいります。



吉田おさむ  
公式HPを  
開設しています。

<http://www.yoshidaosamu.jp>

### 吉田修の県政報告

- 発行日/2018年3月12日
- 発行者/吉田修事務所  
〒921-8804  
野々市市野代2丁目116  
Tel (076) 216-5301  
Fax (076) 216-5302  
お気軽にお立ち寄りください。



石川県議会議員  
**吉田修**

政治は、  
身近にある。

# 県政報告

VOL.11

発行/吉田修事務所  
発行日/2018年3月12日

皆さまには益々ご清栄のことと存じます。さて、この1年の県議会での活動の一端を掲載いたしました。ご一読いただければ幸いです。今年もとにかく全力で。県政発展のため、市民生活向上に向けて、努力精進してまいります。これからもご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

吉田修

**全力!**  
**吉田 POWER!**  
県政と暮らしの  
架け橋となる。

## 県議会レポート

29年6月議会

本会議代表質問の質疑から (抜粋)

2017年6月15日

### 県財政について

北陸新幹線敦賀延伸など大規模プロジェクトの推進には財政健全化の取り組みが必要だ。地方自治体の基金残高の増加とその有効活用を聞く。

**答弁** 財政状況は5年連続で収支均衡となっている。北陸新幹線敦賀延伸、新たな県立図書館の整備、東京国立近代美術館工芸館の移転整備、公共施設の老朽化対策などさまざまな財源需要が予想され、それぞれの基金の設置目的に照らし、適時かつ有効に活用していく。

### 北陸新幹線敦賀以西の整備について

関西圏とこれまで以上に結束し、大阪までの早期全線整備に向けた運動を展開せよ。

**答弁** 北陸新幹線建設促進大会に関西広域連合、関西経済連合会が要請団体として加わり、大阪までの早期全線整備の体制が強化された。沿線各県が一致協力し促進運動に取り組む。

### 金沢以西延伸に向けた並行在来線対策について

金沢開業時の経験を活かし、金沢以西延伸後も安定的な経営を持続する準備が必要だ。

**答弁** 金沢以西の区間は輸送密度が低いと見込まれ、今後の経営は楽観視できない。開業3年前の31年度には経営・運行の基本方針を策定し、安全運行の確保と安定的な経営に向け対策を講じていく。





## 文化プログラムの推進について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の認証を積極的に受けていくべきだ。茶屋文化や能楽など伝統文化の魅力発信を文化プログラムとして展開せよ。

**答弁** 東京国立近代美術館工芸館の移転整備とも歩調を合わせ、いしかわの工芸文化魅力発信・向上プログラムをスタートさせる。現在16件の文化プログラムが認証されており、都道府県で最多となっている。

## 働き方改革について

長時間労働の是正など民間に先んじて県職員のワークライフバランスを進めるとともに、今後、企業が行う取り組みをどう支援するのか。

**答弁** 県庁では知事、副知事、部局長がイクボス宣言に署名し、職員のイクボス研修を実施し、育児休業などの取得取り組みを推進している。企業にとっても労働意欲、生産性の向上となり、先進事例の紹介などの実践支援セミナーなどを開催して推進に取り組む。



## 金沢港クルーズについて

知事のクルーズ船乗船の感想と、今後のクルーズの定着、誘客に向けた取り組み方針を聞く。

**答弁** クルーズを体験し、ファミリー層も多く、更なる市場拡大が見込めると実感した。今後、北陸新幹線と組み合わせたレール・アンド・クルーズにより広域集客が期待でき利用促進に全力で取り組む。

## 農業振興について

モノづくり企業と連携した農業の収益性向上への取り組みについて具体的な成果を聞く。

**答弁** 全国に先駆けコマツ、トヨタなどと連携し、製造業のノウハウを生かし水稲生産コストの4割削減やトマトの収量の5割増しなど農業の収益性の向上を図ってきた。今後、研究段階から実証段階に向けて石川型の農業経営モデルを加速させる。

## 治水対策について

多額の費用と時間のかかる河川改修の整備方針と高橋川の殿田橋架け替え工事の改修スケジュールを聞く。

**答弁** 河川災害は甚大な被害が想定され、重点的に改修を行っている。下流からの整備を基本とし、堆積土砂の除去も含め浸水被害防止にも取り組んでいる。殿田橋架け替え工事はこの秋までに迂回路を設置し、川幅を広げて新たな橋梁を整備する。一日も早い完成を目指す。

## 小学校における英語教育について

新学習指導要綱による英語教育の充実について、小学校の英語教育の全面実施に向けた教育委員会の対応を聞く。

**答弁** 今年度から小松市、内灘町、七尾市を強化拠点地域とし、授業時間の増加への対応など実践研究に取り組む。英語教育推進リーダーの育成、校内研修の充実など来年度からの先行実施、32年度の全面実施の準備を進める。

## 通学路の安全確保について

通学路の危険個所の点検状況とその対応はどうなっているか。交通事故防止のためどのような活動をおこなっているのか。

**答弁** 安全対策を講じる必要が指摘された253か所で信号機や横断歩道の設置などの対策を講じた。随時安全点検の見直しを進めている。事故防止対策として、学校やPTAと連携し参加・体験型の交通安全教室の開催、交通ボランティアによる保護・誘導活動や監視活動を行っている。

## 若手警察官の育成について

警察官の世代交代が進む中、県警における若手警察官の育成について聞くとともに、警察学校で教育を受ける間の不在時の交番対応を聞く。

平成29年12月議会  
予算委員会の質疑から (抜粋)  
2017年12月14日

## 外国人旅行者の受け入れ態勢について

今後とも外国人旅行者の増加が見込まれる中、通訳案内士の人数と対応言語について聞く。飲食店における受け入れ環境のさらなる充実について聞く。

**答弁** 県内には現在250名を超える通訳ガイドが登録されており、需要に対応する余力はある。利用した外国人の8割以上が「満足」「良い」と回答し、ニーズに対応できている。これまで商業施設・飲食店を対象にインバウンドセミナーを開催し、外国語メニューの導入、免税店の拡大、公衆無線LANやクレジット決済の導入を促進している。

## 小松空港の施設改善について

小松空港1階ロビーの床のタイル張りは騒音や振動を不快に感じる。快適性の向上に向け床の改修工事を行うつもりはないか。

**答弁** 素材の開発により床にはタイル以外の素材が使用されている施設も増えていると聞く。夜間工事となることや高額な改修費用も考慮して、北陸エアターミナルビルとも相談していきたい。

## 並行在来線について

IRいしかわ鉄道の金沢以西の延伸は距離が長く、駅数も多い。これまで以上に住民に対してマイレール意識向上の取り組みが必要だ。

**答弁** 特急列車の待機時間が解消され、乗車時間の短縮やダイヤ編成に自由度が向上する。延伸により駅数も5駅から18駅となるので、最終列車の繰り下げやホリデー号の運行など、沿線住民のマイレール意識の醸成と利便性の向上の取り組みをしっかりと検討したい。

**答弁** 警察学校での基礎的な教育訓練、初任教養を行い、警察署にて現場の警察活動の基本を習得した後、再度警察学校にて専門的な法学、地域警察活動の知識・技能を発展、進化させ、実践的な実務を習熟させている。勤務員が減少した場合はパトカーや隣接する鋼板の勤務員がフォローしている。



## 学生のUターン就職促進について

冬に実施するインターンシップマッチング交流会の見込みと手応えはどうか。学生のUターン就職の促進と取り組みを聞く。

**答弁** 12月26日に学生の帰省時期に合わせて開催する。企業参加は昨年3月の227社、学生の参加は昨年の500人を大きく上回る予定である。県内就職の促進は地域の活性化においても重要であり、ほぼ毎月、学生にUターン就職情報を送付している。さらにインターンシップマッチング交流会を倍増させるなど質・量ともに大幅に拡充する。

## 企業による結婚支援について

いしかわ婚活応援企業にはどのような企業が認定されているのか。官民が連携して出会いの機会を作ることが重要だが今後の方針を聞く。

**答弁** 従業員の出会いの提供に取り組む企業をいしかわ婚活応援企業として認定する制度を創設し、目標の100社を大幅に超える150社を今認定している。企業間交流会の開催や認定企業のアドバイザー同士の情報交換会の開催も行い、支援していきたい。

